

# 夢追い人



製作中のテーブル

今回は、神奈川県から大川へ移住（Ｉターン）される市田さんにお話を伺いました。

## 木工の街への移住

移住前は東京の会社に木工職人として22年間勤められた市田さん。2013年頃に会社の制度や職場環境が大きく変わると言われたことや、残業が増え、子どもと一緒にいられる時間も少なくなつてきたこともあり、「そろそろ会社を辞めた方がいいのかな」と思うようになっていたそうです。仕事人生のちょうど折返し地点になるので、環境を変えたい機会かなと思って退社と移住を考えるようになります」

「移住を考えられるようになった頃、奥様がツイッター

## 市田 友之 さん

sole Wood Products  
(ものづくりマイスター)

で「ちくご移住計画・木工職人編」の募集を見つけられたそうです。約三ヶ月間、研修を兼ねて福岡に移住体験できるという企画ということで、「その間に福岡の生活環境を全部見られるし、近隣の県にも行けると思いました」ともお話をされました。

移住体験中には、仕事や研修を通じていろんな人と触れ合う機会があつたとのこと。「みんな温かい人たちで、大川の人たちはこういう温かい人間関係の中で生きてきているんだろうなと思いました」大川の温かさや木工職人として住む利便性などを考慮され、2014年に大川にＩターンを決めたとのことでした。

## こだわりのものづくり 木工製品づくり



# こだわりのものづくりを大川で

されていた頃は、国會議事堂

や迎賓館などに家具を納める

こともあつた市田さん。その

頃から培われた技術を活かし

て、大川でも様々な木工製品

を製作されているそうです。

「基本的にはオーダーを受け

てから製作しています。デザ

インから製作まで全て一人で

こなしているので、一度に多

くの数を受けることは出来ま

せんが、椅子ならばだいたい

十六脚くらいまでなら作れま

すね」

実際にオーダーを受けてか

ら作られた家具のひとつを見

せて頂きました。

「レゴ風の木製の椅子とテ  
ブルを作つてほしい」という注  
文があつたものです。レゴ風  
とはい、既に誰か作つてい  
るのではないのかと思つて調  
べてみたら、そういつたもの  
がないことがわかつて、自由  
デザイんしました」



レゴブロック風の椅子



カメラキャビネット

これまで製作された物のな  
かには、木製の臍臓などの模  
型やカメラを収納するための  
カメラ型キヤビネットなどが  
あるとのことです。

これまで製作された物のな  
かには、木製の臍臓などの模  
型やカメラを収納するための  
カメラ型キヤビネットなどが  
あるとのことです。

「技能グランプリ」に登場さ  
れたことも。

「二日間合わせて14時間とい  
う限られた作業時間だけでな  
く、使える機械やその機械を

使う順番はくじ引きで決める  
など様々な条件が課せられた  
なかでの作業でした。結果は  
四位でしたが、当時の職場の  
仲間たちからは、身内の竜鳳  
目もあると思いますが『お前  
の作品が一番良く出来てい  
る』と言われたのがすごく嬉  
しかったです」



技能グランプリメダル

工業を行うメリットのひとつ  
ですね」

## 海外でも通じる ものづくり

最後に市田さんの夢をお伺  
いしました。

「目の錯覚を利用して、見る  
角度によつて表情が違う家具  
を作りたいです。自宅で使用  
している家具には、そういう  
ものがありますが『お前  
の作品を作りたいですね』  
工している家具の需要がある  
のか不透明な部分もあるので、  
海外でも知られるような木工  
製品を作りたいですね」

そうお話をされた市田さんの  
インスタグラム※1で製作し  
た物を掲載した際には、多く  
の海外の方がいいねを押して  
くださつてているようです。

「将来、個展を開いてみたい  
です。そして自分の作品をた  
くさんの人に見てももらえた  
と思います」



木材を貼り合わせて曲げた  
椅子の背



▲木馬

「技術はもちろんですが、木  
材も無限ではないですか、木  
で、つなぎ目も自然な仕上がり  
になります。東京だと一枚、  
二枚仕入れていたので木目が  
揃わないこともあります。  
大川だと材木店も近くにあり  
ます。これも大川に移住して木

※1 市田さんのインスタグラム [https://www.instagram.com/sole\\_wood\\_products/](https://www.instagram.com/sole_wood_products/)

※2 日時などはP2~3の木工まつり案内参照

の資格を通じ、学生たちに技  
術指導もしている市田さん。

「大川の木工職人の方々が、  
この資格を取得し技術を伝え  
ていけば、大川が木工の街と  
して、さらに発展していくの  
はと考えています」

今月七日から開催される木工  
まつりでは木馬作成体験※2  
も担当されるとのこと。「無  
料で参加できるイベントです  
ので、たくさんの方に参加し  
て頂きたいですね」ともお話  
されました。